

行政評価シート(事後評価)

コード (19) 4-1-6	事務事業名 情報誌「エガール」の作成・フォーラム事業(男女平等推進事業)	所管部課 生活環境部生活文化課(旧市民生活部生活文化課)
-------------------	---	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	男女平等参画社会を実現するためには、一人ひとりが男女平等について理解する必要がある。そのために男女平等に関する意識づくりや、情報の提供、発信を行う。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等		
	男女平等情報誌作成事務: 男女平等情報誌「エガール」を公募市民編集委員が、企画から運営まで携わり、年に3回発行し、公共機関等に配布。中学生以上の市民を対象として、市民の視点を大切にしながら、多面的な角度から男女平等に関する情報提供を行っている。 男女平等参画推進フォーラム事業: 対象年齢を30~40代を中心に考え、年間を通して開催した。連続講座(1)自分をまもる家族をまもる (2)自分を癒す (3)自己表現私があたしであるために (4)しんぐる家庭のくらしの応援 (5)「仕事でも 家庭でも 輝いていたい」をテーマに講演会及び映画会 (6)自分らしいセカンドステージを展開するために、を実施した。		
事業開始時期	13 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			1,864	1,824	2,029
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
内訳	その他 ()					
	一般財源		1,864	1,824	2,029	2,363
所要人員(B)	人		1.30	1.60	1.60	1.60
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		10,826	13,096	13,058	13,058
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		12,690	14,920	15,087	15,421
単位当たりコスト						
(E)=(D) / (情報誌作成部数)	千円		0.35	0.41	0.34	0.34

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	情報誌作成部数	実績値	回	36,000	36,000	45,000	45,000
フォーラム事業数	実績値	部	4	4	6		
(指標の説明・数値変化の理由 など) 情報誌発行部数 (作成形態を大きく変えることなく工夫し、予算は抑制しながら、より多くの市民の手に届くよう作成部数を増やした) フォーラム開催にあわせた事業数							
一次	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	情報誌配布部数	実績値	部	22,416	33,364	23,723	
二次	フォーラム参加人数	実績値	人	234	461	336	
	関心度	目標値	%				
実績値		%		0	83.0	83.3	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 情報誌を配布した部数(編集委員と職員で配布を予定していたが、編集委員が当初から6名揃わなかったり、職員が一名不足するなど、配布が難しかった) 男女平等について関心をもった割合(情報誌エガールのアンケートを回収した中の数値)							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	情報誌を読んだ方から、特集で時流にあったテーマをとりあげたことで、女性相談についての問い合わせや、高評価をいただいた。80歳代の方からは、若い頃からのような情報誌があればよかった、続けてほしいや、いっそうの発展を期待するとのご意見をいただいている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市中25市で男女平等広報誌を作成。 26市中22市でフォーラム、フェスティバルを実施。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	情報誌については、国では、男女共同参画推進本部ニュースを発行。配布部数20部程度のため、パンフレット台に配置するにとどまっている。フォーラムについては、東京都でフォーラムを開催している。

コード (19) 4-1-6	事務事業名 情報誌「エガール」の作成・フォーラム事業(男女平等推進事業)	所管部課 生活環境部生活文化課(旧市民生活部生活文化課)
-------------------	---	---------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>全戸配布を目指すため、編集委員と職員で地域ごとに配布を行ったが、編集委員が当初から6名揃わなかったり、職員が1名不足したこともあり、53%程度しか配布できなかった。できるだけ多くの市民の方の手に届くように、配布方法を再検討する。</p> <p>また、編集委員会のあり方等を含めて、平成20年度に開館する(仮称)女性センターの運営方法と合わせて検討していく。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>当該事業は、男女平等推進の手法として情報誌エガールの発行と、フォーラム開催により目的達成を図るものであるが、エガール作成、配布に掛かる経費は1500万円、発行部数で割り返すと1部当たり340円というコストが掛かっている。また、フォーラムにおいては、30歳台から40歳台までを対象と根拠に乏しい対象範囲としている中で、300人台にとどまっているようである。</p> <p>担当課の必死な取り組み姿勢は汲み取れるものの、事業内容がエガールを年3回発行し、フォーラムをより多く開催することが事業目的となっている感が否めない。男女平等の意識啓発の必要性は、男女が不平等であることを客観的に提示し、市民一人ひとりが自身の課題として認識していくことが肝要であると考えます。現在の事業の在り方を見直すためには、スクラップ・アンド・ビルドするため事業休止が妥当と判断する。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	1			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成20年度に開設する(仮称)女性センターでは、男女平等の推進とともに、DV対策などの女性相談機能の充実が求められる。そのため、情報誌「エガール」の作成やフォーラム開催といった情報発信提供の事務については、センターに求められる機能、事務分量を検証する中で、事業内容や手法、実施体制等を抜本的に見直す必要がある。</p>